

…とっとり県美応援団のための… 連続セミナー〈第2回〉開催ご案内

日時：7月20日(水) 午後2時～午後4時
会場：倉吉未来中心セミナールーム 1
演題：「拡張する美術館、拡大するコレクション」
講師：尾崎信一郎氏(美術館整備局美術振興監)
定員：30人

- ★新しい県立美術館での作品収集は、これまでの収集方針をさらに広げ、近現代の美術についても積極的に収集を続けられる予定で、、、(略)、、、。
- ★今後の作品収集とコレクション形成の具体的な手法等とても興味深い様々なお話が聞けるようです。
- ★その他、詳しい内容については添付しておりますチラシをご覧ください。
- ★参加申込みは、7月15日(金)までに事務局へ
(先着順にて受け付けします。)

美術館の4機能を解説

ふるさとワイド

NANO



県美応援団に美術館の機能や使命について話す
尾崎美術振興監(左)

■ ■ 倉吉、県美整備局が応援団部会にセミナー

倉吉市に建設工事が進められその姿を現しつつある鳥取県立美術館のタイムズを捉え、美術館整備局の尾崎信一郎美術振興監が、県民有志とつくる県立美術館の建設について、美術館整備局(佐伯健二)と話し、団長 向いに倉吉未来中心で、セミナー「美術館とは何か」を開催した。3回連続の1回目、基本的な問題に焦点を絞り、学芸的な立場からレクチャーした。

1回目は「美術館の過去と現在、そして鳥取県立美術館」と題して講演。美術館には、作品を収集して保存し、次世代に伝える「コレクション」、優れた作品を展示する「展示」など四つの機能があると説明した。

コレクションを納める常設展が重要であり、建設中の県立美術館には常設展を開ける広いスペースがあることが紹介。尾崎美術振興監は「県所蔵の作品は世界中からも呼べる」と話し、「人が作品と出合ったら感動するよう小さな奇案をうくり出すのが美術館の使命」と考えていると締めくくった。

県美応援団の会員を対象に今後7月、9月にセミナーを開く予定で、同事務局に申し込みは、同会員になる必要はない。問い合わせは電話080(1)912(59)7。(吉浦雅子)

第1回「連続セミナー」の様子
日本海新聞6月14日掲載記事より



来館者対応チーム 研修会

みんなで進もう!!

「対話型鑑賞」ファシリテーターへの道

＜研修内容＞

対話型鑑賞ファシリテーターのポイント

- ①対象者(小学4年生)の実態について
- ②ファシリテーターの役割と、活動の作り方
- ③鑑賞活動模擬体験(グループに分かれて)

＜研修後の主な感想＞

- ・鑑賞活動を体験した子ども達が「美術館にもう一度来たい!」と思う出会いの場にしたい。
- ・子ども達の緊張をほぐすこと、ユーモア等も取り入れて発言しやすい雰囲気作りが大切だ。
- ・日常とは違う場所での活動、まず始めに自由鑑賞の時間を設け、美術館の雰囲気を感じさせてからの鑑賞活動も効果的では?! 等々

次回は、8月9日(火)14:00～16:00

上灘コミュニティーセンターにて

- ・ビデオ視聴「対話型鑑賞活動」の実際
- ・県博学芸員さんに解説して頂きます。

活動の報告

環境チーム 学習会

=講演会 & 座談会=

＜演題＞

大御堂廃寺とこの地域の学びを深めるために

根鈴智津子氏を講師に迎え、たくさんの資料を用いながらのお話にいつも引き込まれてしまいます。

今回は、倉吉観光 MICE 協会のガイドの方々にも参加頂きました。

講演後の質疑応答を含めての座談会では、次々と発言が出て、講演の内容が更に深まりました。古地図にある「小字」からは、今の地域からは想像できない当時の状況がリアルに浮かび上がりました。

また、大御堂廃寺跡には美術館の開館に合わせての整備計画が進み、現地には史跡案内所が設置されるとか。新たな情報も知る事ができ、とても有意義な学習会でした

厳しい暑さが続きます!! 体調管理に努めましょう!!!